



公益財団法人 味の素の文化センター
〒108-0074 東京都港区高輪 3-13-65 味の素グループ高輪研修センター内
TEL: 03-5488-7318

2019年9月10日

食文化を楽しめる展示を Google Arts & Culture で公開

～英語ウェブサイトも大幅改定～

公益財団法人 味の素の文化センター（理事長：伊藤雅俊 所在地：東京都港区、以下「財団」）は、Google が提供する Google Arts & Culture（*）と協力し、同サイトで本日新たに、錦絵からわかる江戸の食文化を紹介するオンライン展示を開設しました。

財団は、所蔵する食に関する錦絵（江戸時代に中ごろに誕生した多色刷りの木版画、浮世絵の一種）や古典籍（江戸時代以前の書籍）の代表的な作品約 60 点を同サイトに掲載しました。このサイトでは錦絵等のコンテンツを拡大して鑑賞することができ、細部の表現を楽しむことができます。また、独自の企画展示として、錦絵からわかる江戸の食文化の特集を掲載しています。

（公財）味の素の文化センターオンライン展示サイト：

artsandculture.google.com/partner/AjinomotoFoundationForDietaryCulture



Google Arts & Culture
に掲載した錦絵
「見立源氏はなの宴」(上)
と料理部分の拡大 (右)



なお、財団は、同時に財団の英語ウェブサイトのリニューアルを行い、新たにエッセイやビデオ等の英語のコンテンツを充実させました。今回のサイトリニューアルでは、食文化研究の先駆者である石毛直道氏のエッセイ「大食軒酩酊の食文化」の英語版、料理・食文化の権威である江原絢子氏監修の「江戸のファストフード（蕎麦・寿司・天麩羅）」の英語テロップ版ショートムービー、さらに、キュレーター・アトライターの林綾野氏のエッセイ「食でひも解く浮世絵の楽しみ」の英語版を掲載し、英語でも食文化を楽しめる内容となっています。これらのコンテンツは今後も順次更新していきます。

Ajinomoto Foundation For Dietary Culture : syokubunka.or.jp/english

【公益財団法人 味の素食の文化センター】

1989年財団法人として設立され、2013年4月に公益財団法人となりました。財団の目的は、食の文化に関する研究支援及び普及啓発等を行い、新たな食文化の創造、発展を図ることによって、世界の人々の豊かで健康的な食生活の形成向上に資することです。具体的な活動として、食に関するテーマを学際的に議論する「食の文化フォーラム」や上記成果を一般向けに発信する「食の文化シンポジウム」の開催、食文化誌『vesta』（季刊）の発行、食の専門図書館「食の文化ライブラリー」や「食文化展示室」の運営などを行っています。syokubunka.or.jp

参考

【Google Arts & Culture】

Google Arts & Culture は、2,000 を超える世界各地の美術館や博物館等が所蔵する作品や文化遺産を鑑賞できるサービスです。2011年に提供を開始し、ウェブサイト や iOS または Android アプリからアクセスすることで、ゴッホの寝室、伊藤若冲の樹花鳥獣図屏風、広島平和記念資料館 など、600 万点を超える芸術作品や歴史的資料にアクセスすることができます。Google Arts & Culture では、世界各地の美術館や博物館等とパートナーシップを結び、人類の多様な文化遺産に世界中のユーザーがインターネットを通じて簡単にアクセスできるサービスやツールの開発・提供に取り組んでいます。

artsandculture.google.com